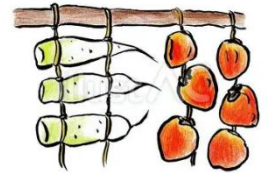




令和7年11月18日本校



チームたかとか・はくれい

「なかよく学び すすんで働こう」「希望・意欲・自立」

子どもの育成を目指して -本校 職員会議資料⑭-

～自分のできることで、まわりの人を笑顔にしよう!幸せにしよう!～

上 松 武

■「わ～ きれ～い」と心揺さぶる学習 ～11/10小中学部プラネタリウム学習から～

- ・第2体育館に入ると、真っ黒なふわふわドーム（中に空気が送られていて、跳んだり転がったりできるドーム型の遊戯施設。イメージできましたか…）。



- ・上映の最中でしたが、中に入ってみるとそこには満天の星空が、頭の上に映し出されていました。子どもたちは、寝転んだり正座して見上げていて、時折「わ～、きれ～い!!」と歓声を挙げたり、拍手をしたり、手足をバタバタしたりと感動や感激を表現していました。
- ・やはり本物を使った学習は子どもたちの心を揺さぶりますね。
- ・2学期に入り、各学部や寄宿舎において教室

で学んだことを、校外にある『本物』を通して確かな学びにするという目的で行われている校外学習。ぜひ、校外に出掛けた時には、次のような学びの姿が見られるように、先生方のアイデアあふれる『仕掛け』に期待しています!

- 一校舎内でできている挨拶で公共施設の方々と心通わすことができ、「やった～」という笑顔と自信
- 一教室で学習したお金の支払い方法を使って、地域のコンビニエンスストアで支払いができ買いたいものが買えて、「できた～」という感激と自信
- 一理科の授業で知識として見聞きしたことが、「先生、この間の勉強ってこのことだったんだね（この間ベンキョウしたこととちょっと違っている）。」という発見と自信

■「これをつくる!」とやりたいことが明確になる授業 ～中学部1年生美術の学習～

- ・先日、3、4時間目に中学部1年生の美術の授業を参観する機会があり、当日の朝、各教室をのぞきに行くと、廊下には、製作途中の「海の生き物」の作品が展示されていました。
- ・たまたま参観する学級の生徒が、展示されている作品を先生と見に来ていました。「納豆パックでサメを作ります!」と気に入った作品を見ながら、繰り返し主張していました。
- ・美術の授業。その生徒の机上には先生が作ったサメの見本がありました。その生徒は、見本と同じように空き箱で口を作り、三角の歯を何本も切っては貼り付けていました。
- ・放課後の協議会。この生徒は立体物を製作する上で何をどう作っていいか分からない様子が最初あったそうです。でも、空き箱をサメの口のように作り、歯を見本以上にたくさん貼り付けていました。
- ・自閉症の特性が強いこの生徒が上記のように取り組むことができた要因として、私は次の2つがあったと考えます。

①作りたいものの明確化：自閉症の特性が強い方には視覚情報を取り入れることが得意な一方で、なかなかイメージすることが難しいと言われています。廊下の他の生徒の



作品を見ることで、「こう作ればいいんだ」「これと同じものが作りたい」と、やること
がより鮮明になったと考えられます。

②作りたいものを見本として提示したことの効果

果：強みである視覚優位という特性を生かし、「見本」を用意したことで、イメージと見通しを持てたと考えられます。この生徒は見本をもとにしなが、見本にはない「歯を隙間なく付ける」という自分のイメージで制作できました。

・当校で学んでいる児童生徒の中には、この生

徒のような特性を示す子どもたちが多くいます。「何を、どうするのか」が分からず混乱し、不安になって逸脱してしまうことが十分考えられます。この美術の授業のように、「やることの明確化」と「見本の提示」を手立てに取り入れてみてはいかがでしょうか。

■ピリっとした雰囲気 ～高等部の校内・職場実習～

- ・今月4日（火）から21日（金）までの3週間、高等部の生徒が校内や地域の事業所で実習に取り組んでいます。校内実習の様子を参観に行くと感じることは、どの生徒も真剣に自分の課題に取り組んでいて、その場の空気感がピリっとしています。
- ・そのように取り組めるのは、一定時間学習に取り組む習慣や毎日休まず学校に来るという当たり前のことの積み重ねだと私は思っています。
- ・このことが高等部卒業後、「一定時間作業に取り組む習慣」につながり、「事業所に毎日休まず来る」という当たり前の日常になります。
- ・前のたよりでも書きましたが、「日々の小さな積み重ね」がこの先の生きる力に必ず生きてきます。「毎日同じことをして、つまらない」「こんなことして、何の意味があるのか？」と思っている生徒がいたら、私はこう強く伝えます。

「毎日繰り返される日々を、
毎日同じ気持ちと同じコンディションでできない人に、仕事と信頼はありません」

- ・この3週間の実習期間はもちろん、卒業までの学校生活を、「日々の小さな積み重ね」を本当に大切にしながら、丁寧に取り組んでほしいと、心の底から思っています。

■自分自身の言動の振り返り ～相次ぐ教職員の非違行為の発生を受けて～

- ・先日の新潟県高等学校長研修会において、高等学校の校長によるセクシャルハラスメントやパワーハラスメントで懲戒処分となる案件が発生し、今までにない強い指導がありました。
- ・今一度自分自身の生徒への関わり方（声の掛け方、眼差しの向け方など）はもちろん、同僚に対しても自分の関わり方で相手を不快な思いにしていなかったか振り返ってください。
- ・以前、先生方に配付した『教室マルトリートメント』って何？』という資料が振り返る視点の一つになると思います。例えば、以下の点です。

☑資料にある「◆ネグレクトに類似した指導」や「◆心理的虐待に類似した指導」をしていないか。

☑「何回言われたら分かるの？」「早くしないと〇〇させないから」



「そんな子は1年生からやり直してください」などという、いわゆる『毒語』を生徒に言っていないか。

- ・ちょっとした軽い気持ちでの言動が通ってしまいがちなのが学校現場です。「人のふり見て我がふり直す。」お互いに振り返っていきましょう。

■「先生方の声に基づく業務の見直し・工夫について(第2弾)」に向けたアンケート結果

	増やす	現状のまま	その他
事例検討会や研修会	21 名 (21.2%)	56 名 (56.6%)	22 名 (22.2%)
	必要	必要と思わない	その他
勤務時間外の電話対応	62 名 (62.6%)	19 名 (19.2%)	18 名 (18.2%)
	設ける	現状のまま	その他
小1入学後1～2週間給食なしで下校	40 名 (55.6%)	9 名 (12.5%)	23 名 (31.9%)
	廃止	現状のまま	その他
授業日の日番業務	25 名 (32.9%)	39 名 (51.9%)	12 名 (15.8%)
	廃止	現状のまま	その他
長期休業の日番業務	32 名 (32.3%)	49 名 (49.5%)	18 名 (18.2%)
4月初めに実施している研修の実施時期	別の時期	現状のまま	その他
A 嘔吐物処理研修・発作時対応訓練	9 名 (11.7%)	63 名 (81.8%)	5 名 (6.5%)
B 集金報告作成担当者説明会	6 名 (8.3%)	55 名 (76.4%)	11 名 (15.3%)
C ブラッシング研修	31 名 (42.5%)	29 名 (39.3%)	13 名 (17.8%)
D 情報教育部研修	27 名 (27.3%)	44 名 (44.4%)	28 名 (28.3%)

- ・10月24日までのアンケートに回答いただき、ありがとうございました。結果をお伝えします。詳細はグループウェアの掲示板でお伝えしますので、ご覧ください。先生方の考えやアイデアを活用しながら、年内には対応策をお示します。
- ・設問5「4月初めの研修の実施時期」については、対象の研修を担当する分掌が、今後行われる分掌会議で時期や内容の検討をお願いします。

■絵本の紹介



『あしなが』 あきやま ただし 作・絵

内容紹介

「いやなやつ」が「ともだち」にかわった日。

無責任なうわさに乗せられて、真実を見失いがちなわたしたちに、この犬たちは何かを教えてくれる。

すらりとした美しい犬、あしながは、のら犬たちからきられていました。

「でっかい家にすんで、すごいごちそうたべてるんだって。」

「子犬や子ねこをたべちゃうんだって。」

カッコいいけど、さいていのやつ——。のら犬のケン、みんなのうわさ話を信じて、あしながのことをそう決めつけていました。

ところがある日、あしながのほんとうの姿を知ったケン。そのとき、ケンの心の中で何かが変わりはじめたのです。
(絵本ナビのホームページから引用)

私たち教師という立場にある者こそ、この絵本が投げ掛けていることを真摯に受け止め、教育の本質を見誤らないように、目の前の子どもたちと誠心誠意関わっていきましょう。